

一般質問



久枝 議員

○わくわく・おでかけ券の一本化について

質 支援事業は昨年と本年度はいくらの予算でいくらか使用されているか。

長寿介護課長 平成28年度は2千710万円の予算で、内訳は外出支援券が2千20万円、施設利用券が690万円となっており、利用率は外出支援券が80・1%、施設利用券が22・2%となっています。本年度の当初予算では2千300万円を計上しています。

質 外出券は80%使用されているとのことだが、100%使ってもらうために一本化し、7月からでも自由に使用できるようにしてはどうか。

市長 外出支援券と施設利用券はそれぞれの目的があつて分けています。議員ご指摘のように利用率は大きな差がありますので、見直しの必要があると思います。本年度は現在のままで、来年度に向けて検討させていただきます。

○松浦駅周辺に「憩いの家的な施設設置について

質 御厨駅のそばにある元気力フェや調川駅のそばにも憩いの家が地域のボランティアの方々の協力のもと

運営されている。志佐町には「万年青荘」があるが、通りがかりにでも気楽に立ち寄れる場所が欲しいとの要望もある。「みなくる」がなくなり、あのような立派な建物でなくても、空き家対策として、新材材での多少のリフォームで済むような建物を見つければ、何らかの対応をして欲しいと思うがどうか。

長寿介護課長 高齢者が憩える場所として、志佐地区にある老人福祉センター万年青荘、各地区の高齢者憩いの家、そして住民ボランティア団体による集いの場等がございます。みくりや駅前元気力フェは地域住民の皆さんが当番制で憩いの場を開設しております。この運営については市が設置しているものでなく、地域の皆さんが、空き家を借りて改修をして、自主的に運営をされています。その活動を、地区社協が主体となり地区団体等が連携をして支援をしているものです。地域の皆様が主体的に取り組んでいただくことが重要だと考えていますので、地域の皆様の声を聞きながら一緒に考えていきたいと思っています。

その他不老山公園花フェスタ並びに展望所に東屋を建設すること、ラジカ体操講習会誘致、梶の葉団地への入居手続き等の簡素化、不要携帯等を集めて東京五輪金メダル製造協力について質問しました。

一般質問



江 議員

○小中学生登下校時の安全について

質 市内で3月、4月に声かけ、車の付きまといがありました。ご認識はいかがですか。

教育長 3月、4月に1件ずつ小学生への声かけ事案が発生しており、子どもたちの安心、安全を守る立場としてあつてはならないことだと思います。今後、声かけ事案の発生及び被害の防止に向け、各学校での取り組みや各関係機関との連携を強化するとともに、全ての市民による見守りができる体制づくりに努めたいと思います。

質 声かけ事案等の未然防止のため、メール配信等の利用がありますが、市長のお考えはいかがですか。

市長 情報を共有することが大事なことでと思いますので、メール配信等々については、全庁的にどういう形が一番スピードをもつてやれるかということについて検討したいと思っています。

質 PTA等との情報共有のため、各学区内を一枚ものにした地図情報を持つようにしてはどうですか。

教育長 ご指摘の点は大変有効な手段だと思っておりますので、今後、地図等を使って、情報の共有について積極的に検討してまいります。

○医療提供体制について

質 伊万里松浦病院移転について、多くの市民は救急搬送が佐世保市等への二次救急に搬送されなくて、松浦市内で完結するなら来てもらいたいと要望を出されていますが、伊万里松浦病院が移転してきた場合、二次救急が可能な体制でしょうか。

健康ほけん課長 開設時において二次救急までは難しいと考えています。**質** 鷹島と福島の診療所の療養病床数がゼロになることになっていますが、鷹島・福島で施設介護が必要が高齢者については、財政も含めてどのようなお考えですか。

健康ほけん課長 福島の療養病床につきましては介護保険適用です。このため再編計画では介護療養病床をゼロとしています。介護施設への転換を検討しております。今後も地元の皆様のご意見を伺いながら、財政負担についても検討していきたいと思っております。

質 市民から小児の夜間救急の要望もありますし、また施設介護を必要とする高齢者を路頭に迷わせない対応も必要と考えますが、市長のお考えはいかがですか。

市長 JCHO病院の開設については期待が大きく、その期待に沿えるよう今後調整していきたいと思いますが、まずは過剰病床地域ですので、県の医療審議会等々の条件整備に全力を挙げてまいります。